

第一に、学園占拠を媒介として、一切の勢力を学内帝国主義秩序防衛・復活の日共民青、及び右翼ファシスト反革命武装突撃隊の消滅（すなわち、革命的武力による彼ら、学生及び教職員の中核指導部分の行動不能化をめざす赤色テロル、中間部分に対する武力制圧・動揺部分に対する告発・糾弾・説得による離反・及び獲得）へと、集中せよ！ そりしてわれわれは、着実に、より多くの学園を全共闘プロレタリア革命派の手に奪取し解放することができる。

第二に、プロレタリアートとしての自己を、一切の小ブルジョア中間主義潮流から断固として区別し、そしてその指導部を粉碎・打倒の対象として明示せよ。こうした潮流の指導部分として、われわれは「ベ平連」を自称する、小田実（プロレタリアートの革命的暴力の拒否・粉碎を語る）を明示することができる。

日本帝国主義ブルジョアシーの政治戦線の「左翼」をになつてきた構造改革派は「共産主義労働者党」を先頭として、いまや大急ぎで、トロツキズムから借りてきたいくつかのことばで、「左翼」らしく見せるための厚化粧をぬりたくる作業に熱中している。

世界革命戦争へと、すべてのプロレタリア階級闘争を集約する革命派は、このような反革命・日帝ブルジョアシーの左翼的補完物をなす潮流の、「△派共闘」などと称する政治戦線に、みずからをおくことを拒否すべきである。

☆ 全都・全国の革命的プロレタリア学友諸君！

大学治安立法粉碎闘争を、全国学園占拠・反乱の深化へと推しすすめよ！

まず学園内部の敵を撃つ。そして大学治安立法粉碎の目標をかかげる全共闘は、全共闘プロレタリア公安委員会を軸として、学内帝国主義秩序派の指導的幹部（学生及び教職員を含む）を革命法廷によって断罪し、公然たる革命的テロルを実施するのだからなければならない。

日帝ブルジョアシー国家権力の反革命的指導者諸君！ これが諸君の大学治安立法に対する、われわれ革命的プロレタリア学生の回答だ。

日共民青反革命武装突撃隊の指導者諸君！ 諸君は次のような思惑を立てている。すなわち「全共闘・トロツキスト暴力学生」を、学内外で、国家権力によって粉碎させる。しかるのち、日共民青反革命部隊が学園を制圧し、日帝ブルジョアシーのために「民主化」する、と。

否、革命的プロレタリア学生は、諸君のかけたワナには、はまらない。われわれは、まず学内の帝国主義秩序の担い手すなわち君達に狙いをさだめ、きわめて効果的に君たちに革命的テロルを加えるだろう。これが諸君に対する、革命的プロレタリア学生の回答なのだ。

☆ 全国学園占拠・反乱の組織者・全共闘全都・全国評議会の構築へ！

一九六九年六月二十七日

ゲバルト社
武装蜂起準備委員会

東京都文京区小石川4-14-22 丸菱M301号

TEL (八二二) 一九三三番

A・I・P・O 全国機関紙 第8号

『プロレタリア軍団』定価450円（送料45円）

×× 武装蜂起準備委員会・基調的政治方針レシメ

×× 法政大学におけるプロレタリア革命とブルジョア反革命

×× 立命館闘争の総括と展望のために(2)、羽仁五郎の革命的粉碎・打倒のために、その他

武装蜂起準備委員会・全論文集

『反乱・武装蜂起への進撃』定価300円（送料65円）

△取扱書店 東京・神保町・ウニタ書店、早大前・文献堂、関西・京都・三月書房、大阪・會根崎書店、関西大生協△